

大会テーマ: **文学におけるジェンダーと宗教**

2020年2月21日(金) 於 東北大学川内北キャンパス

プログラム

10:00-10:15 会長挨拶および本会の主旨説明

10:15-12:30 大学院生報告

10:15-10:45 王 昕涌 (東北大) 「明治初期の政教一致の一側面——常世長胤の思想から」

10:50-11:20 保泉 空 (東北大) 「昭和前期のカトリシズム——吉満義彦の近代超克論を例に」

11:25-11:55 荒井美咲 (東北大) 「日本人大学生の「キャラクタ」を介した人間関係の一考察」

12:00-12:30 高橋優香 (東北大) 「司馬遼太郎の仏教理解」

13:30-16:00 パネルセッション「近代日本文学のなかの宗教と女性」

牧野 静 (筑波大) 宮沢トシの信仰とジェンダー

水谷 香奈 (東洋大) 真の女性解放とは何か——平塚らいてうの人間観・女性観

大澤 絢子 (大谷大) 「物語る」歴史学——親鸞と恵信尼はなぜ夫婦なのか

笠間はるな (東北大) 『文学界』と文覚上人発心譚——明治20年代における前近代文学受容と女性作家

16:15-17:30 **基調講演**

佐藤勢紀子

仏教思想とジェンダー —— 『源氏物語』を對象に

基調講演者紹介

佐藤勢紀子 (さとう・せきこ)



東北大学高度教養教育・学生支援機構教授。博士(文学)。1955年仙台市生まれ。1985年東北大学大学院文学研究科国文学国語学日本思想史学専攻博士課程満期退学。1988年東北大学文学部講師。教養部、留学生センター等での勤務を経て、2014年より現職。2001年より国際文化研究科でも教育・研究指導に従事。専門は日本思想史、日本文学、日本語教育。単著に『宿世の思想——源氏物語の女性たち』(ペリカン社、1995年)、『源氏物語の思想史的研究——妄語と方便』(新典社、2017年)他。